

## 「外国人との共生社会」実現検討会議；中間的整理について

外国人との共生社会の実現に向けた環境整備に関する諸問題について検討するため、11府省庁の副大臣級による「外国人との共生社会」実現検討会議（議長：中川内閣府特命担当大臣）を設置（5月24日）。

### ◆ 検討内容

目指すべき外国人との共生社会のあり方や、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備のための具体的方策等について、有識者ヒアリングを重ねつつ検討し、環境整備の意義や必要性、当面の取組、今後の課題等について中間的整理を行った。

### ◆ 中間的整理のポイント

- ▶ 少子高齢化や経済のグローバル化が進展する中で、外国人も含め、すべての人が能力を最大限に発揮できる社会づくりが不可欠。外国人との共生社会の実現に向けた環境整備を進めていくことが必要。
- ▶ 外国人との共生社会の実現に向けた環境整備は、開かれた国としての我が国の評価や魅力を高め、我が国に活力をもたらす外国人を惹きつけることにもなるもの。
- ▶ このため、「外国人との共生社会に関する政策」を今後の外国人政策の「柱」の一つと位置付け、「出入国管理政策」と調和させながら、より総合的・体系的に取組を推進（日本語教育の充実、子どもの教育対策の推進、雇用・労働環境の整備など）。
- ▶ 外国人の受入れのあり方については、我が国の産業、治安、労働市場への影響等国民生活全体に関する問題として、国民的コンセンサスを踏まえつつ、我が国のあるべき将来像と併せ、幅広く検討・議論していくことが必要。幅広い国民的議論に資するよう、必要なデータの収集整備、国民への情報提供等に努めるとともに、どのような検討方法がふさわしいか等について、引き続き検討することが必要。

### \* 開催経過 \*

第1回（5月24日）

・主な論点・検討課題について

第2回（6月1日）

・目指すべき「外国人との共生社会」のあり方について有識者ヒアリング

第3回（6月15日）

・外国人が生活する「現場」での課題、取組について有識者ヒアリング

第4回（7月3日）

・共生社会実現と外国人受入れのあり方（視点・留意点等）について有識者ヒアリング

第5回（8月27日）

・中間的整理のとりまとめ